

# 第 136 回島根県立大学教育研究評議会議事要旨

(2019 年度 第 3 回)

- ・日 時 令和元年6月26日(水) 15:00～15:40
- ・場 所 浜田キャンパス本部棟会議室 出雲キャンパス大会議室  
松江キャンパス大会議室
- ・出席者 清原学長、井上厚史副学長、石橋副学長、岸本副学長、梶谷看護栄養学  
部長、岩田人間文化学部長、犬塚教務部長、吾郷教務部長、松浦教務部  
長、濱田学生生活部長、名和田学生生活部長、小柳学生生活部長、井上  
治北東アジア開発研究科長、狩野別科長、李北東アジア地域研究センタ  
ー長、藤原しまね地域研究センター長、落部事務局長
- ・欠席者 山下学長代行、林総合政策学部長

○第 135 回教育研究評議会の議事要旨の確認について

第 135 回教育研究評議会の議事要旨について、原案どおり承認された。

## 《審議事項》

(1) 非常勤研究員の選考について(浜田キャンパス)

李北東アジア地域研究センターから、非常勤研究員の選考について、資料(略)により説明があり、承認された。

(2) 非常勤講師の任用について(松江キャンパス)

岩田人間文化学部長から、非常勤講師の任用について、資料(略)により説明があり、承認された。

(3) 人間文化学部客員研究員の選考について(松江キャンパス)

岩田人間文化学部長から、人間文化学部客員研究員について、資料(略)により説明があり、承認された。

(4) 島根県立大学浜田キャンパスメディアセンター利用規程の改正について(浜田キャンパス)

井上治メディアセンター長から、島根県立大学浜田キャンパスメディアセンター利用規程の改正について、資料(略)により説明があり、承認された。

岸本副学長より、本学という文言があるが、浜田キャンパスの教職員、学生のみが対象か確認があり、清原学長から、利便性をより高めるため、本学というのは3キャンパスを含めるという理解で進め、3キャンパスの実態把握を行い、今後詳細を詰めてほしい旨の意見があった。

(5) その他

なし

## 《報告事項》

(1) 入試改革の検討状況について（清原学長）

清原学長から口頭により、入試改革の検討状況について、全学での入試改革基本方針として、①県内高校生の入学を増やす、②できるだけ教職員の負担を減らす、という2点で見直しを図っており、入試検討部会で最終的なまとめに入っているが、構想案がまとまり次第、教育研究評議会や各キャンパスにも説明したいと考えていること、また、あくまで全学方針案であり、入試内容や方法等の詳細は各学部、学科・コースで決めてほしいと考えている旨の報告があった。

(2) 北東アジア地域研究センター准研究員の決定について（浜田キャンパス）

事務局から、北東アジア地域研究センター准研究員の決定について、資料（略）により報告があった。

(3) 平成30年度業務実績報告および第2期中期目標期間に係る業務実績報告について（浜田キャンパス）

事務局から、平成30年度業務実績報告および第2期中期目標期間に係る業務実績報告について、資料（略）により報告があった。

井上厚史副学長より、各キャンパスの学生編集委員会が編集・取材等を実施する際に支援費の支出はあるのか確認があり、武田企画調整室長から、交通費の費用弁償を実施しているとの回答があった。

(4) 第3回新学部学科設置等準備委員会の報告について（浜田キャンパス）

事務局から、第3回新学部学科設置等準備委員会の報告について、資料（略）により報告があった。

井上治研究科長より、必修科目であるしまね地域共生学入門は、国際関係コースで必要ないのではないかと、また、現担当教員等に相談するだけではなく、国際関係コースの教員の意見も重要ではないかと発言があり、清原学長から、カリキュラム部会で様々な角度から検討して案をまとめている旨と、必修科目はなるべく少ないほうがよいのが自身の持論であり、カリキュラム部会でも伝えていと発言があった。

(5) 北京農学院（中国）との包括協定の締結について（浜田キャンパス）

事務局から、北京農学院（中国）との包括協定の締結について、資料（略）により報告があった。

(6) 北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて（浜田キャンパス）

李北東アジア地域研究センター長から、北東アジア地域研究センター市民研究員の受け入れについて、資料（略）により報告があった。

(7) その他

なし